

<総計欄> 12月の仕入量は167,609トン前月比+3.7%、前年同月比-6.9%、販売量は160,473トン前月比+1.6%、前年同月比-6.3%。仕入量、販売量ともに前月比増加、前年同月比減少しました。在庫量は215,818トン前月比+3.4%、前年同月比-9.8%、在庫量は前月比増加、前年同月比は減少しました。在庫率は134.5ポイントと上昇しました。

土木関連の動きは多少みられるものの中小建築物は相変わらず少ない状況が続いています。

12月の販売量も前年同月比で減少となり、2020年は1月～12月迄すべての月で前年割れとなりました。

実需がない中でメーカー値上げで、流通は価格転嫁するのに苦しい展開となっています。

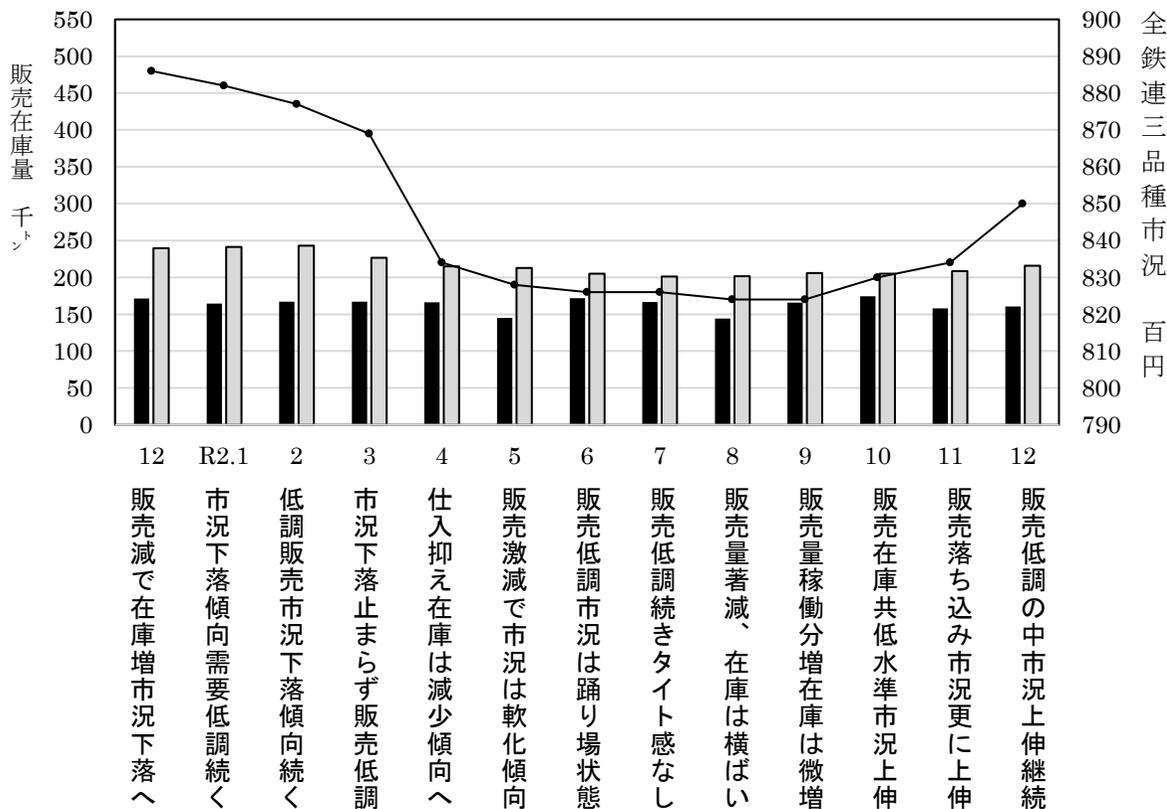
2020年度第3四半期の販売量は492,898トン。前期比3.3%増、前年同期比10.3%著減。前期比では増加しているものの前年同期比では約1割減少しています。

<販売欄> 品種別では異形棒鋼2.6%増加、東京7.7%増加、大阪1.7%減少、愛知は19.7%著減しました。H形鋼は1.5%増加、東京8.7%減少、大阪3.3%増加、愛知13.5%著増となっています。その他品種では山形鋼3.6%増加、溝形鋼0.9%微減、コラム4.7%減少、C形鋼3.2%減少しています。

<在庫欄> 品種別では異形棒鋼7.2%増加、東京6.5%増加、大阪16.2%著増、愛知0.1%微減しています。H形鋼は3.8%増加、東京9.2%増加、大阪4.1%増加、愛知6.4%減少しています。その他品種は山形鋼1.3%増加、溝形鋼3.6%増加、コラム2.9%増加、C形鋼6.8%増加となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移

■ 販売量 □ 在庫量 ● 三品種市況



12 販売減で在庫増市況下落へ
 R2.1 市況下落傾向需要低調続く
 2 低調販売市況下落傾向続く
 3 市況下落止まらず販売低調
 4 仕入抑え在庫は減少傾向へ
 5 販売激減で市況は軟化傾向
 6 販売低調市況は踊り場状態
 7 販売低調続きタイト感なし
 8 販売量著減、在庫は横ばい
 9 販売量稼働分増在庫は微増
 10 販売在庫共低水準市況上伸
 11 販売落ち込み市況更に上伸
 12 販売低調の中市況上伸継続